

一口レポート

実施日：7月24日

科目名：SA・子ども教室

講座テーマ：高大白熱教室習

講師：大阪高齢者大学校講師

温暖化を考える

音田 輝元 先生

地球のいま、そして未来

- ◆ 環境について、あらためて勉強になりました。
- ◆ 白熱教室でもいつもと同じ。子ども教室では音田先生のおかげで、年中、白熱教室です。
- ◆ 白熱教室、もっと白熱をしかけて下さい！！暑さでみんな疲れ気味？ 環境テーマは中が広すぎて焦点が絞れない。進め方も大変！ 「元気を出そう」シニア隊！！
- ◆ 環境問題について、色々な意見を聞くことができた。
- ◆ 白熱教室、色々な温暖化方法を聞き、大変勉強になりました。
- ◆ みなさんの知識にびっくりです。しっかり環境について勉強できました。
- ◆ 地球の未来、人工問題、環境問題等、将来の諸問題は明るい、ポジティブな方向で積極的に取り組めば良いと思います。イノベーションに期待しております。
- ◆ 地球の温暖化、環境問題、白熱教室、おもしろかった。皆さんの思い、自然がそのままの日本・地球であってほしいと思います。
- ◆ 環境問題についての白熱。いろいろと行政や個人での工夫がうかがえてよかったが、国政への環境問題にふれなくて残念です。
- ◆ 地球環境について、勉強になりました。
- ◆ 頑張ってます！！
- ◆ 「地球のいま、そして未来」のテーマでした。情報あふれる今、パソコンでたいがいのことは調べられる時代ですが、余り自分に身近なことでは無かったため、今日の授業でまとめて大分判って良かったと思います。
- ◆ 温暖化による未来について考えました。色々意見があり、楽しい時間です。
- ◆ 地球環境の問題は、人生そのものの問題でもあると思う。
- ◆ 午前中＜地球のいま、そして未来＞でみんなで話し合いをしたのが興味深くおもしろかった。
- ◆ 毎回、新しい発見があり楽しい。
- ◆ 音田先生の指導のもと、楽しい授業を毎週楽しみにしております。
- ◆ ＜地球のいま、そして未来＞で未来に明るい展望がもてそう！と思いました。環境について知っていること、気になっていることを出し合ったことも、とても参考になりました。
- ◆ 現在の環境問題、特に身近な問題で激論がかわされた。結論としては、生活が便利になったが、反対に失っているものが多く、発展ばかり考えるのではなく、身の丈に合った生活で満足するべきではないかということ再認識しました。
- ◆ そんなに楽観的でいいのでしょうか。もう少し確固としたものを更に示してほしいと思

います。

- ◆ 地球環境は今どうなっているか、リサイクルする事に協力していきたい。
- ◆ 我々の世代は、環境の変化が大きい時代に生きてきたと思う。問題が多すぎて絞れないが、問題意識は持ちやすいので、できることに参加していきたい。
- ◆ 温暖化について、難しかった。先生の話聞いて少しは理解出来ました。
- ◆ 白熱教室で、いろいろな事をじっせんされているのにおどろいた。
- ◆ 我々高齢者の役割は、未来に対して、常に地球環境の改善と、如何に継承していくか、と思います。
- ◆ 環境問題について、たくさんの意見を聞いて、とても参考になりました。小さい事でも、これからの日本の未来を考えて、頑張りたいと思います。
- ◆ 日本の今後は、今日の白熱教室での討論をお聞きして、少しは明るい・希望が持てる気がします。
- ◆ 原発、放射能を子供達にも詳しく教えるべきだ。
- ◆ 地球のいま、そして未来、の授業、地球の環境については関心があり興味深い事でした。クラスの皆さんの色々な話を聞いて良かったです。未来のために少しでも、努力が必要だと思いました。
- ◆ 大変難しい問題、一言で言うのは難しい。でも、いろんな意見が聞けて、うれしかった。
- ◆ 環境問題は広範多岐に渡る問題であり、ある部分では、相当改善されたものもあるが、また、他の部分では未改善のものもある。息の長い人類の課題であると思う。
- ◆ 環境問題につき、色々なご意見があり、おもしろかった。
- ◆ 温暖化の問題は、地球だけの問題ではなく、我々人間全体の生活にかかわる原点であり、一つ一つ解決しなければならないと。
- ◆ 身近な問題で、興味深い題材、人間の思いで世の中はどの様にも動くという事を感じました。

#### ●結果の評価

・満足：24名 (71%)    ・どちらでも無い：3名 (9%)    ・不満：0名 (0%)    ・未記入：7名 (20%)

<午前>

・白熱教室、温暖化を考える<地球のいま、そして未来>

<午後>

・自主活動

法円坂フェスティバル、ものづくりの紹介を各班より実施して頂きました

・クラスミーティング

法円坂子どもフェスティバルに向けて、 事前準備活動

以上 (編集 佐藤和次)